

離床アドバイザー 1 年取得ゼミナール

2022 年 GuideBook



2022 ゼミナール生 スケジュール

開講式

開講式	1 月 15 日 (土)	オンライン(講座終了後)
-----	--------------	--------------

第 12 回全国研修会・学術大会	7 月 30 日 (土) 予定	現地・オンラインハイブリッド形式 (予定)
------------------	-----------------	--------------------------

実技スクーリング	9 月 17 日 (土) 予定	オンライン(予定)
----------	-----------------	-----------

修了式

教育セミナー後	12 月 18 日 (日) 予定	オンライン(予定)
---------	------------------	-----------

※開講式ではゼミナールについての説明、修了式では修了証の授与を行います。
懇親会も開講式、修了式と同時開催されます。
ゼミナール生間の親睦を図るため極力スケジュールの調整をお願いいたします。

臨床を元気にする 不必要な臥床を無くすために

離床を進めるリーダーとなるスタッフ「離床アドバイザー」の資格を短期間で集中して習得するゼミナールです。

「離床アドバイザー」は、離床に関する知識・技術を習得し積極的に離床を図れるレベルと評価されます。

また、自分ひとりではなく、同じ目標を持った多施設・多職種の仲間と一緒に学べるのが本ゼミナールの特徴です。

ゼミナールでは、施設でリーダーシップをとり、率先して離床を進めることのできるモビライゼーション（離床）リーダーを育成します。このリーダー養成コースは世界に認められる教育システムです。

自己研鑽を積んで素晴らしい臨床家を目指してください。

日本離床学会
代表理事 曷川 元



目次

1. 教育課程（カリキュラム）	4
1-1 目的	4
1-2 ゼミナールの目的	4
1-3 教育課程の仕組み	5
1-4 単位制度	5
1-5 単位補充制度	5
1-5-1 スクーリング・フォローアップへの参加	5
1-5-2 インターネットセミナーレポートの提出	6
1-5-3 その他	6
1-6 学期	6
1-7 修了式	6
日本離床学会教育システム 講義時間数の目安	7
2. 修学上の注意事項	8
2-1 ゼミナール生同士のコミュニケーション	8
2-2 ゼミナール生への連絡方法	8
2-3 退学	8
2-4 除籍	8
3. 単位履修手続き	9
3-1 履修手続き	9
3-2 手続き方法	9
3-3 手続き期限	10
3-4 手続き確認	10
4. 講座受講	11
4-1 講座当日	11
4-2 アセスメントシートの提出	11
4-3 欠席・キャンセル	11
4-4 休講	11
4-5 講座単位認定	11
4-6 その他	11
5. 離床アドバイザー習得要件	12
5-1 履修単位の管理	12
5-2 申請方法	12
6. おしらせ	13
6-1 日本離床学会会員	13
6-1-1 インターネットセミナー動画視聴	13
6-1-2 学会誌「早期離床」進呈	13
6-1-3 学会相談サイト利用	13
6-2 ゼミナール学費引き落としについて	14
6-2-1 引き落とし不能について	14
7. 離床アドバイザー認定後	15
7-1 講師コース	15
7-2 一般市民教育コース	15
8. よくある質問	16

1. 教育課程（カリキュラム）

1-1 目的

日本離床学会の教育目標は「安全な離床とは何かを真摯に考え、適切な時期に離床を実施できる臨床家の育成」です。高度な学術研究で研鑽を積み上げ、さらに地域市民に対する啓発活動の拠点から、世界へ最新の見識を発信していく情報発信基地として社会に貢献することをねらいとしています。

1-2 ゼミナールの目的

日本離床学会では、離床に特化した高度な知識や技術レベルをもつスタッフ育成のため、臨床で必要とされる知識・技術の基準を満たしたものに対し、離床アドバイザーの資格認定をしています。離床アドバイザーの資格を習得することによって更に上位の“離床インストラクター”試験に挑戦することができます。試験に合格し、離床インストラクターになると、当会講師メンバーとして全国の離床に関する教育活動に参加する講師コース、患者・家族を含む一般市民の離床の啓発に関わる活動に参加する一般市民コースに登録することができます。

そのインストラクターの前段階としての認定資格がアドバイザー資格となります。離床ゼミナールでは離床アドバイザーの資格を1年のコアカリキュラムによって基準の単位数を修得することを目指します。

【理論コースの目的】

本コースは離床に必要な理論や知識を習得することを目的としています。離床に関する概論、解剖・生理学的知識、リスク管理に必要な知識を学習します。また各論講座では、人工呼吸器などの機器使用に関する知識、心電図波形、心エコー、血液ガスデータ、生化学データ、X-P画像といったデータ読解の知識、フィジカルアセスメントの診方など、臨床で必要とされる様々な知識を学びます。自身で根拠をもって離床を推進でき、かつ多職種との信頼関係のもと、話し合いや協力を通し、最新の医療知見に基づいたケア・リハビリテーションをチーム連携で成し遂げられることをねらいとしています。

【実技コースの目的】

本コースは実際に離床を促すための技術を習得することを目的としています。体位変換・移乗動作などの段階的な離床を推進するために必要な方法を学びます。またリスク管理に必要な症状別のフィジカルアセスメント、呼吸介助や排痰技術などテクニカルな手技を実技形式で学習します。さらに人工呼吸器の使用法やDVT・リンパ浮腫の弾性ストッキングの着脱法など、臨床現場に特化した実技を学ぶこともできます。臨床で自信をもって離床の実践ができるとともに、多職種への離床技術の共有、円滑なチーム医療の遂行を行えることを目標とします。（2020年より感染症対策としてオンラインでの実技講習を行っています。）

1-3 教育課程の仕組み

教育課程（以下カリキュラム）とは、離床アドバイザーの教育目標を達成するために、個人の臨床経験や技能、学習過程に応じて構成される教育内容計画のことです。それぞれ教育内容ごとに、臨床で十分な知識や技術が活用できるレベルに習熟できると考えられる必要な時間数を設定しています。（[日本離床学会教育システム 講義時間数の目安 P7 参照](#)）

本ゼミナールで離床アドバイザーを習得するには、本ゼミナールを1年間受講し、所定の単位である計14単位を修得しなければなりません。カリキュラムは、理論コース、実技コースのふたつから構成されており、単位修得にはそれぞれ必要な単位数が定められています。離床アドバイザーを習得するには、理論コース7単位かつ実技コース7単位修得する必要があります。もし1年間ゼミナールでアドバイザーを習得できないと予測される場合でも、補充単位によって単位を修得できるシステムがあります。

1-4 単位制度

アドバイザー習得には単位修得が必要です。ゼミナール生は受講する講座の履修登録を行い、講座に参加することで、その講座に応じて設定された単位数を修得することができます。定められた履修方法に基づいて各講座を履修し、アドバイザーに必要な単位を修得することになります。

当会の1単位の講座は5時間以上の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。

科目区分	講座時間数	修得単位数
共通コース	6時間	理論・実技各1単位
理論コース	5-13時間	1単位
実技コース	5-13時間	1単位

1-5 単位補充制度

アドバイザー資格習得に必要な単位数を講座受講で満たすことができない、またはそれが予想される場合下記の方法で単位を補完することができます。

i	スクーリング・フォローアップへの参加	2単位
ii	インターネットセミナーレポートの提出	上限2単位

1-5-1 スクーリング・フォローアップへの参加

ゼミナール生限定で行われるセミナーです。講座で学んだ技術を総復習し、臨床活用できるテクニックを身につけることを目的としています。スクーリング・フォローアップの受講で2単位修得することができます。詳細は当会事務局よりメールで連絡します。その際に履修登録を行うことで参加することができます。

1-5-2 インターネットセミナーレポートの提出

日本離床学会ホームページ上、会員が視聴できるインターネットセミナーのレポートを作成・提出し一定基準を満たすことによって補充単位を修得できます。

インターネットセミナーレポートは動画内容30-60分の視聴に加え、レポート作成に必要な60分を自学学習時間として設けており、計3本のレポート作成で講座時間と同等の6時間（1単位）に達するよう考慮されています。

レポート提出の詳細は下記をご参照ください。補充単位はレポート3本に対し1単位の付与となり上限は2単位です。

レポートは、タイトルを「【動画タイトル】について」とし、所属、氏名、メールアドレス（必須）を記載ください。本文は1400字以上とします。添削基準は動画内容をまとめた内容に加え、「自身で調べたこと」、「最も印象に残ったこと」、「臨床での今までの考え方」、「動画を視聴し変わった考え方」、「臨床でどう活用できるか」また「臨床で活用する際の問題点」の記載があるか、となります。提出の際は当会事務局宛に郵送、メールまたはFAXにて行ってください。添削結果は提出確認後、添削し1-2週間を目安にメールで連絡します。3週間待っても返信が来ない場合は当会事務局まで連絡ください。

1-5-3 その他

離床アドバイザー1年取得ゼミナールに入る前に受講した日本離床学会教育講座の履修単位をアドバイザー認定時に利用することができます。

1-6 学期

本ゼミナールの学期は2022年1月1日より2022年12月31日までと定めます。

1-7 修了式

修了式は12月に行います。アドバイザー習得に必要な単位数を満たした者または予定者にアドバイザー資格の認定を行います。必要単位を満たせなかった者には1年ゼミナールの修了証のみの授与となります。単位の履修は計画的に行うよう管理してください。

日本臨床学会教育システム 講義時間数の目安

理論コース	講義概要	時間	実技コース	講義概要	時間
基礎理論プログラム	早期離床のエビデンスとコンセプト	5	基本実技プログラム	早期離床技術のエビデンスとコンセプト	5
呼吸機能の解剖・生理	人がなぜ呼吸をするのか？ ガス交換のメカニズム	7	呼吸（フィジカルアセスメント）	呼吸苦・リトレーション・ラトリング・気管支呼吸音・肺胞呼吸音・副雑音・打診音	5
人工呼吸器ケア	人工呼吸器の適応・仕組み・パラメータなど	7	循環（フィジカルアセスメント）	血圧・脈拍数・頸静脈怒張・手足の冷感・湿潤・心音	5
鎮静・せん妄	鎮静・せん妄・離床の関係	5	消化器（フィジカルアセスメント）	腹水・ガスの貯留の理解、肝腫大・脾腫のアセスメント、腸閉塞のアセスメント	3
酸素療法	酸素療法の目的・投与器具	5	運動器（フィジカルアセスメント）	運動機能のスクリーニング、バランステスト	3
呼吸器疾患の理解とケア	呼吸不全・肺炎・気胸・肺水腫など	5	急変対応	急変対応・対処・報告	5
循環の解剖・生理	体循環と肺循環 血圧の3因子・前負荷・後負荷	7	体位変換（上方移動・側方移動）	段階的離床の準備、呼吸器合併症予防・改善	3
心電図検査	心電図検査の目的・正常と不整脈	7	体位変換（前傾側臥位）	呼吸器合併症予防・改善、排痰目的、ポジショニング	3
心臓血管外科術後	術式の適応・理解、術後ケア・リハなど	5	体位変換（腹臥位）	呼吸器合併症予防・改善、排痰目的、ポジショニング	3
循環器疾患の理解とケア	循環不全（ショック）・起立性低血圧など	5	移乗動作（起き上がり・立ち上がり）	移乗動作前の環境設定と患者指導のコツ、立ち上がり動作のメカニズム	3
骨・関節・筋	骨・関節・筋の構造・触診	5	移乗動作（部分介助）	膝ブロック法、Hold & Cover 法、背後からの介助など	3
骨・関節系疾患の理解・ケア	骨折・変形・術後・ケアなど	5	移乗動作（全介助）	膝持たれ法、抱え込み法、二人介助など	3
脳神経系の解剖・生理	脳脊髄液・脳循環自動調節能・脳卒中病態など	7	呼吸ケア手技1	呼吸介助手技の適応と技術指導	3
高次脳機能障害	高次脳機能障害に対する理解・ケアなど	7	呼吸ケア手技2	排痰法（ハフフィンング・ACBT）	3
嚥下栄養	嚥下基礎知識・嚥下アプローチ	5	関節可動域運動1	リラクゼーション実施目的の理解・技術指導	3
検査・データ1	血液データ（炎症値・腎機能・肝機能・糖尿病など） 血液ガスデータ（P/F比・酸塩基平衡の理解・病態）	5	関節可動域運動2	ストレッチング法の実施目的の理解・技術指導	3
検査・データ2	疾患別画像読影（X-P・CT・MR・エコーなど）	7	関節可動域運動3	関節可動域運動の実施目的の理解・技術指導・End feelの理解	3
各疾患治療薬	強心薬・降圧剤・抗不整脈薬・血管拡張薬・抗血小板・抗凝固薬・利尿薬・睡眠導入薬・鎮静薬・鎮痛薬・気管支拡張薬など作用・副作用	5	病棟リハビリテーション1	床上での運動指導と留意点	3
合併症	深部静脈血栓症（DVT）・リンパ浮腫の病態理解・ケアがん・周術期に対する病態理解・ケア	5	病棟リハビリテーション2	寝返り動作獲得の指導と留意点	3
重症患者の離床	人工呼吸器装着患者の離床の留意点	5	病棟リハビリテーション3	起き上がり動作獲得の指導と留意点	3
離床プログラムの立案	離床の阻害因子と離床レベルの設定、離床の効果判定	5	病棟リハビリテーション4	端座位バランス向上の指導（リーチ動作）と留意点	3
リスク管理	各病態における離床の開始基準と中止基準	5	病棟リハビリテーション5	立ち上がり動作獲得の指導と留意点	3
症例形式によるシミュレーション	各疾患の症例検討	5	病棟リハビリテーション6	立位バランス向上の指導と留意点	3
理論コース履修時間		35	実技コース履修時間		35

2. 修学上の注意事項

2-1 ゼミナール生同士のコミュニケーション

ゼミナール生は同じ目的や思いを持った仲間です。

我々医療・福祉の業界は、施設同士の横の繋がりをもちづらい環境にあるため、このゼミナールの仲間はとても貴重な存在となるはずです。年間を通して講座などで顔をあわせる機会も多くなりますので、この機会に積極的に交流をもち、臨床での情報交換や悩みを共有してください。施設や職種の違う仲間の意見や情報はきっと役に立つと思います。

対象講座で、ゼミナール生専用の席を極力設けますのでご活用ください。またプライベート交流時のトラブルには当会は一切関与致しませんのでご了承ください。

2-2 ゼミナール生への連絡方法

ゼミナールに関する日本離床学会からの連絡は原則メールとなります。

ゼミナールのスケジュールに関すること、単位認定に関すること、提出物に関することなど、ゼミナールを円滑に遂行するために必要な情報を連絡します。見落とすとゼミナール遂行に支障をきたす恐れもあるので注意してください。

また当会からのメール（jsea@rishou.org）が必ず受信できるよう各自メールの受信設定を予め確認してください。

2-3 退学

都合により退学の手続きを取る際は、当会事務局に連絡をしてください。

途中解約する場合、以下の2点の申請・支払いを行ってください。

1. 途中解約の申請は解約希望月の1ヶ月前に事務局に連絡をしてください。
2. 解約を希望する場合には、解約金10,000円に加え、ゼミ開講から解約月までに受講した講座の正規受講料との差額を支払うことで解約が可能です。

なお、年払いの方は、原則ご返金できませんのでご了承ください。

2-4 除籍

所定の学費を期日までに引き落としができない場合、「除籍」となります。

3. 単位履修手続き

3-1 履修手続き

講座を受講するためには、履修手続きを行う必要があります。いかなる理由があろうと、これを怠ったり、誤ったりすると受講ができなかったり、講座そのものの単位が認定されなくなる場合がありますので、以下の手続き方法をよく読み、注意して手続きを行ってください。ゼミナール前に受講した講座の単位もアドバイザーに必要な単位数に加算されます。履修手続きはアカウントもしくは学会員登録が必要です。

3-2 手続き方法

①日本離床学会ホームページ (<https://www.rishou.org/>) へアクセス

- “アカウントまたは学会員にログイン”
- “教育セミナー” → “参加したいセミナーの申込” をクリック

トップページ

教育セミナーページ

The image shows two screenshots from the Japanese Bedsores Society website. The left screenshot is the homepage, featuring a sidebar with navigation links like '資格取得までの単位数' and '教育セミナー'. The main content area has an 'Information' section with various announcements and a 'Main Contents' section with a grid of images. A red circle highlights the '教育セミナー' (Education Seminar) link in the 'Main Contents' grid, with a red arrow pointing to it. The right screenshot is the '教育セミナーページ' (Education Seminar Page), showing a list of seminars. A red circle highlights the 'お申し込み' (Apply) button for a seminar titled '入会キャンペーン'.

- “申込情報を確認” → “参加登録を進め” → “支払い方法を「銀行振込」” を選択

The image shows the '教育セミナーのお申込み' (Education Seminar Application) form. The form is divided into two main sections: '講座情報' (Seminar Information) and '支払い方法の選択' (Payment Method Selection). The '講座情報' section shows details for a seminar titled 'シリーズ「循環」 苦手を克服！循環機能の評価（アセスメント）と早期離床（基礎・評価編）'. The '支払い方法の選択' section shows two options: '銀行口座振込' (Bank Transfer) and 'クレジットカード' (Credit Card). The '銀行口座振込' option is selected and highlighted with a red circle.

銀行振込の案内が表示されますが、支払いの必要はありません。

iv. 申込後 2-3 日後に受講票の印刷（ログイン後のマイページより）が可能となります。受講票を印刷し、受講当日受付スタッフに提示してください。

トップページ

受講票の印刷ページ

The screenshot shows the website of the Japanese Society for Early Rehabilitation (日本離床学会). The left sidebar contains a 'マイページ' (My Page) section with a list of links: '受講履歴' (Course History), '受講票の印刷' (Print Ticket), '資格取得までの単位数' (Number of units required for qualification), 'クーポン管理' (Coupon Management), '学会員専用ページ' (Members-only page), and '未入会の方用ページ' (Page for non-members). The '受講票の印刷' link is highlighted with a red circle. The main content area is titled '受講票の印刷' (Print Ticket) and contains the following text: '受講票の準備が出来ております。以下の「受講票の印刷」ボタンをクリックいただくことでダウンロードすることが可能です。講座当日は、受講票を印刷してお越してください。なお、受講票を忘れますと受講ができない可能性もありますので、ご注意ください。' (The ticket is ready. You can download it by clicking the 'Print Ticket' button below. On the day of the lecture, please bring the printed ticket. Please note that if you forget the ticket, you may not be able to attend the lecture.) Below this text are two course listings: 1) '今一番足りない！“考える力”を養おう グループディスカッションで学ぶ離床のリスク管理' (The most lacking! 'Thinking power' training through group discussion to learn the risks of getting out of bed) with details [開催日]2020/04/26 [受講コード]K-06 [場所]札幌 [支払]未; 2) '苦手を克服！酸素療法・人工呼吸器の基礎と呼吸アセスメント' (Overcome your weakness! Basics of oxygen therapy, artificial respiration, and respiratory assessment) with details [開催日]2020/03/29 [受講コード]R-07 [場所]福岡 [支払]済. At the bottom right, there is a '受講票の印刷' button highlighted with a red circle.

※LINEメッセージやそのほかSNS、また各講演での「次回予約」は利用できません。

3-3 手続き期限

講座に応じて手続きできる期限を定めています。原則、**講座開催日の1週間前までに手続きを行ってください。**やむを得ない理由がある場合は、必ず事務局に連絡してください。

また満席になった講座はいかなる理由があろうと手続きを行うことができません。極力1ヶ月前を目安に手続きを行ってください。

3-4 手続き確認

また申込後1週間たっても受講票が印刷できない場合は、事務局にご連絡ください。

4. 講座受講

4-1 講座当日

受講票の記載のある申込 ID でオンライン受講してください。受講票がない場合は速やかに講座担当者に確認をとってください。

また、出席確認のために、講座当日に配布する資料や参加証を年末のアドバイザー申請まで保管をしていてください。

4-2 アセスメントシートの提出

受講後に事務局から E メールで送信される、アセスメントシートに回答することで受講単位が認められる。アセスメントシートの提出がない場合は、履修登録（受講申込）をしても、**単位が認定されない**ので注意ください。

4-3 欠席・キャンセル

やむを得ず、欠席・キャンセルをする場合は必ず事務局に連絡してください。一般受講生で講座申込のキャンセル待ちをする方もいます。手続後のキャンセルが判明した場合、次回以降の受講をお断りする場合があります。当日欠席の連絡は事務局にメールをしてください。遅刻・早退する場合も同様です。遅刻・早退の時間によっては受講歴を認めないこともありますので、注意ください。

また本人以外の代理受講はいかなる理由があっても一切認められません。

4-4 休講

自然災害等の影響など、やむを得ない理由により、講座開催が変更となる場合は、日本離床学会ホームページインフォメーションに最新情報を随時更新しますのでご確認ください。また非常時の際は、各担当講師が指示を出しますので、その指示に従ってください。

4-5 講座単位認定

ご自身では、マイページの「資格取得までの単位数」を参考にしてください。

トップページ



資格取得までの単位数ページ



4-6 その他

各講座で講座資料とともに参加証明書・領収書を渡しますが、支払い金額と異なるためゼミナール生は使用できません。別途ゼミナール学費における領収書が必要となる場合は、事務局まで連絡ください。

5. 離床アドバイザー習得要件

離床アドバイザーは、「離床をすすめるために必要な専門知識・技術を有し、周囲のスタッフに対し適切な助言ができる能力を有する者」と定めています。そのために必要な知識・技術を満たすための十分な技能がえられるよう、単位修得要件は組まれています。ゼミナール生はこの修得要件を満たせるよう計画的に受講スケジュールを自身で組まなければなりません。

離床アドバイザー習得に必要な条件は理論講座7単位、実技講座7単位の修得です。日本離床学会で現在開催されている講座は次頁（[日本離床学会講座一覧](#)）を参照ください。また開催講座は、日付、講座内容が変更となる場合があります。最新の情報は日本離床学会ホームページをご覧ください。

5－1 履修単位の管理

履修単位の管理はコース修了申請書を用いて各自で行ってください。コース修了申請書の最新版は日本離床学会のホームページ認定試験・資格ページからダウンロードできます。申請時に履修もれがあると、申請取り消しとなる場合がありますので注意ください。またゼミナール生になる前の受講歴も単位として認められます。コース終了申請はゼミナール生になる前の受講も含めて申請できます。

5－2 申請方法

所定の単位を満たすと離床アドバイザー習得申請をすることができます。離床アドバイザー認定者には修了式に離床アドバイザー認定カードとバッジが授与されます。所定の単位数を満たした、または満たす予定の時点で申請書を事務局まで郵送・FAXまたは講座にて直接担当者に提出ください。

修了式に認定を受けるためには、2022年11月15日（必着）までに必要書類をそろえ手続きを完了してください。

手続きを行う際には以下の条件を確認してください。

必要条件：「所定の単位を取得すること」と「当会会員であること」

※会員は年会費¥4,900（クレジットカード登録または口座振替）が必要です。

申請時に、

既に会員の方：11月末までに離床アドバイザー申請書を提出してください。

会員未登録の方：10月中に会員登録を行い、11月末までに離床アドバイザー申請書を提出してください。

※1年で必要単位数を満たせない場合は、ゼミナール修了後も修得した単位数を活用できません。

6. おしらせ

6-1 日本離床学会会員

離床アドバイザー認定を申請する際には、日本離床学会会員である必要があります。

1 年間での登録となり次年度以降は自動更新となります。ゼミナール生申請時には必ずしも会員である必要はありません。年会費は4,900円です。

会員になると様々なサービスを受けることができます。

6-1-1 インターネットセミナー動画視聴

公式テキストや講座にちなんだ動画を配信しています。また年に一回行われる全国研修会の一部内容を編集した配信も行っています。講座受講前に関連動画を視聴すると講座の理解が深まります。

また単位取得が思うようにいかず、単位不足が予測される際に、動画を視聴しレポートを提出することで、補助単位を充当することができます。動画レポート3本につき1単位、上限2単位まで申請することができます。

6-1-2 学会誌「早期離床」進呈

毎年年末1回離床に関する最新情報を掲載した学術情報誌をお送りしています。

6-1-3 学会相談サイト利用

臨床や講座で疑問に思ったこと、意見を聞きたいことなどを聞ける、フリー掲示板を利用することができます。

※会員サービスの内容は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

6－2 ゼミナール学費引き落としについて

- (1) 毎月27日（金融機関休業日の場合は翌営業日）に、指定の金融機関の口座・クレジットカードより学費 8,800 円（税込）が引き落とされます。

※クレジットカード決済の場合のみ、毎月27日前後となり、事前に決済日をメールにて案内いたします。

- (2) 引き落としの前日までに入金を済ませておいてください。
- (3) 引き落としができない場合当会事務局から連絡することがあります。

6－2－1 引き落とし不能について

- (1) 万一、残高不足になると引落不能となります。やむを得ず納入が遅れる場合は、必ず事務局までご連絡ください。
- (2) 引き落とし不能となった場合、翌引落月に2回分を引き落とします。

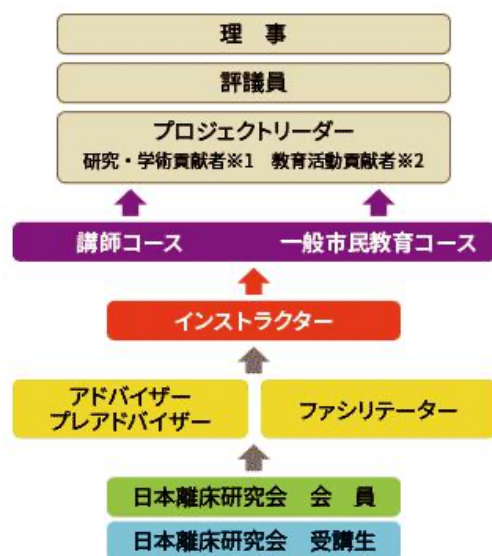
7. 離床アドバイザー認定後

離床アドバイザーになると日本離床学会より「離床に関して周囲のスタッフに適切な助言ができる知識・技術をもつ者」として認められます。また離床アドバイザー習得者は、次年の離床インストラクター試験に挑戦することができます。離床インストラクターは「離床するために必要な卓越した知識・技術を有し、自ら率先して各施設や地域で教育活動ができるものに与えられる資格」であり、離床アドバイザーの上位にあたる資格のことをいいます。

離床インストラクター試験は年1回全国各地で行われる筆記試験（1月）と実技試験（11月）があります。筆記試験、実技試験どちらにも合格すると離床インストラクターとして認定されます。

離床インストラクターになると、当会講師メンバーとして全国の離床に関する教育活動に参加する講師コース、患者・家族を含む一般市民の離床の啓発に関わる活動に参加する一般市民コースに登録することができます。（下図）

当会では、「現状をよりよく変化させたい」と向上心をもつ方をバックアップし、その積極性を育み、社会貢献を目指す人材登用を行っています。



7-1 講師コース

当会教育講座の講師としてプレゼンテーションを実践しながら、人に伝える技術のステップアップを目指すコースです。個々の適性を判断し得意分野や領域の講座を担当し、ときに実技指導を行います。日本離床学会の特徴である「わかりやすい」プレゼンテーションを習得し、プロの医療者を教育したいという志を当会講師陣がサポートします。

7-2 一般市民教育コース

当会の理想は、医療者が患者に離床機会を提供するだけでなく、患者自ら離床の重要性を深く理解し、入院後自ら起きる意識や文化をつくることにあります。当会は、市民講座をはじめ様々な活動を通して地域社会に貢献し、一般市民に離床の啓発を行う人材育成に力を入れています。

8. よくある質問

- Q. ゼミナール参加前の受講単位は、離床アドバイザー申請に反映されますか。
A. はい、反映されます。
- Q. 1年で離床アドバイザー認定に必要な単位が取得できません。
A. ゼミナールで取得した単位は翌年移行も引き継ぐことができます。必要単位に達した時点で、改めて認定申請をしてください。
- Q. 修了式に参加できない場合は認定証の受け取りはどうなりますか。
A. 修了証等は、郵送にて授与します。
- Q. 2日間の講座に1日のみしか参加できない場合はどうなりますか。
A. 参加は可能ですが、単位は認められません。
- Q. 途中退学の場合、単位はどうなりますか。
A. いかなる場合も一度納入された学費は返還されませんが、受講した講座は正規受講料との差額を納めることで単位は認められます。



臨床を元気に！ 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラールビル2階

TEL: 03-3556-5585 FAX: 03-6272-9683

Email: jsea@rishou.org HP: <https://www.rishou.org/>